

歯学部附属歯科衛生士専門学校 新校長就任のお知らせ

歯科衛生士専門学校で初となる、本校卒業生・歯科衛生士の校長が就任しました。

岡橋校長
メッセージ



校長 岡橋 智恵

1989年3月 学校法人東日本学園大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 卒業
歯科衛生士免許取得
1995年8月 北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 教育補助員
1996年4月 北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 専任教員
2013年4月 北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 教務主任
2026年1月 北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 校長

2026年1月より、本校の校長に就任いたしました。私は、1989年に本校(当時は東日本学園大学歯学部附属)を卒業し、歯科衛生士としての第一歩を踏み出しました。7年の臨床現場を経て恩師の勧めもあり教育の現場に飛び込みました。私自身が本校の卒業生であり、専任教員として長く勤めてきたからこそ、本校の教育の質の高さと、アットホームな温かさを誰よりも強く実感しております。

本校は北海道で唯一の歯学部附属校です。北海道医療大学との強固なネットワークを活かし、歯学部の講師陣から直接指導を受けられるなど、非常に専門性の高い学びの場を整えています。大学附属医療機関での臨床実習という恵まれた環境下で、最新の歯科医療に触れながら、「高度な知識・確かな技術」だけでなく、患者様の心に寄り添う「豊かな人間性」を育むことを目指しています。

これからの医療現場で欠かせないのが、他の専門職と協力し合う力です。本校では、歯科医師を目指す学生との連携実習に加え、大学の学生たちと共に学ぶ「多職種連携教育」を実践しています。学生のうちから職種の垣根を越え学びあうことで、現場での即戦力として活躍できる「連携の力」を自然と身につけることができます。学習面だけでなく、サークル活動や大学祭などの課外活動も大学と一体となって行われており、学部や学校の垣根を越えた交流ができることも本校の大きな魅力です。

今後も学生一人ひとりに寄り添う、きめ細かな指導と支援によって、学生と教員の距離が近く、家族のような温かさがある本校の伝統を、大切に守っていきたくと考えております。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

国際交流について

TOPICS 01

上海事務所開設について

2025年11月1日(土)に、中国・上海にアジア圏からの留学生を支援する事務所を設置し、11月17日(月)に開所式を行いました。本学の海外拠点は、台湾、韓国に続いて3か所目となります。中国人留学生向け教育で最大手の「行知学園」と連携し、上海での相談業務を委託します。



TOPICS 02

全北大学看護学部との学部間交流協定を締結

本学看護福祉学部は、韓国・全北大学看護学部と学部間交流協定を締結しました。2026年1月9日(金)、全北大学看護学部のSeok Hee Jeong 学部長をはじめ、教職員12名および大学院生12名が来日し、本学サテライトキャンパスにて調印式を執り行いました。本学からは、山田看護福祉学部長、桑原看護学科長、塚本教授、安彦国際交流推進センター長が出席し、両大学・学部の紹介の後、両学部長による協定書への署名が行われました。調印式終了後は、全北大学大学院生による研究発表も行われ、活発な意見交換の場となりました。



TOPICS 03

ドイツと韓国から短期研修生を受け入れました

2025年9月から10月にかけて、以下の学生が本学歯学部にて短期研修を実施。両大学は協定校外ですが、学生の希望により受け入れを行いました。



大学(国)	研修期間	参加学生
クリスティアン・アルブレヒト大学キール(ドイツ)	2025年 9月1日(月)～5日(金)	歯学部4年生
ソウル大学(韓国)	2025年 9月29日(月)～10月3日(金)	歯学部DDS課程4年生

TOPICS 04

海外協定校へ学生を派遣します

本学が大学(学部)間学術交流協定を締結する海外の大学・機関において、相互交流プログラムに基づき、「海外短期研修」として2026年3月に学生を派遣します。

薬学部は、国立ブリン医科大学(ポーランド)、医療技術学部は、チュラロンコン大学(タイ)及びイエテボリ大学(スウェーデン)にそれぞれ学生を派遣します。

また、歯学部では、「海外短期臨床研修及び実習の実施を前提に、イエテボリ大学(スウェーデン)、ストラスブール大学(フランス)、キョンヒ大学(韓国)、チュラロンコン大学(タイ)、マヒドン大学(タイ)及びチューリングン病院(ドイツ)に学生を派遣します。なお、今後、各海外協定校から本学への学生派遣が行われる予定です。